

高山西ロータリークラブ 創立1966年1月15日

例会報告



第2789回例会
令和7年8月22日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 杉山 和宏
- 会報委員長 堀 幸一郎

大垣共立銀行高山支店 4F

AG 訪問・クラブアッセンブリー例会

<会長の時間>

お盆も過ぎて朝晩は少し過ごしやすくなった様に思いますが、日中は相変わらず30度を超えております。まだまだ体調管理に気をつけて頂きたいと思います。さて今月のテーマは「会員増強月間」です。会員増強については、毎年重要項目として取り上げられています。確かに数は力であり、会員が多くなればクラブも活性化しますし、活動の幅も広がってきます。会員増強は大切な事と思いますが、ただ大切な事を見落としてはいけないように思います。会員増強は持続可能なクラブ運営の基盤作りに大切で有ると良く言われます。会員数が安定していないと、奉仕活動や財団への寄付、例会運営に影響が出ます。ただ増強は単なる人数合わせではなく、現会員も含めロータリアンとしての「質」の向上を考えて行く事が大切に思います。そして多様性の確保と言うことも大切に思います。年齢、性別、職業、国際的な視点など、多様なバックグラウンドを持つ会員を迎えることで、クラブの視野が広がり、奉仕活動の幅も豊かになります。また一番大切なことはロータリーの理念を共有して頂く事だと思います。「超私の奉仕」の理念を理解し、共感して入会してもらうことが大切で、単なる興味本位で入って頂くと言うことではなく、奉仕と親睦を大切に作る仲間を迎えることが理想です。今年度お二人の方に入ってもらっています。職業の多様性と言う意味でも広がりを作って頂けそうで、有り難く思っています。せっかく入会いただいた方が孤立しないよう、クラブ全体で温かく迎え入れ、ロータリーの理念を理解頂きながら親睦の輪に自然に溶け込んでいただくことが大切です。そして私達メンバーに取りまして、ロータリーの会員増強は「数を増やすこと」よりも「共感し合える仲間を育てること」が本質です。会員増強委員会・ロータリー情報委員会が連携を取り、会員を巻き込んで会員増強に取り組んで頂きたいと思います。



10:00 終了・・・15:00
 場所・・・「名鉄グランドホテル」
 登録料・・・お一人様8,000円（振込 9月19日）
 ◎国際ロータリー第2630地区 地区大会実行委員長 柴田 佳幸様より
 2025-2年度地区大会クラブ活動報告パネル作成のお願い
 各クラブの活動報告・地区委員会活動報告を昨年同様PRさせていただきます。発表の希望が有るクラブはデータ作為をお願い申し上げます。
 ◎ロータリー文庫運営委員長 小倉 純夫様より
 文庫通信のご案内
 ◎国際ロータリー日本事務局 業務推進室よ
 会員増強・新クラブ結成推進月間リソースのご案内
 ◎岩本ガバナー補佐様より
 「ガバナー杯チャリティゴルフ大会 濃飛グループ予選会参加のお願い」
 日時・・・2025年10月13日（月・祝）
 9時27分OUT-IN同時スタート
 場所・・・飛騨高山カントリークラブ
 <例会変更>
 高山RC・・・日時・・・9月4日（木）12:30～ ⇒7:30
 理由・・・職場訪問例会のため
 場所・・・中部縦貫
 （下切高架橋、坊方トンネル現場）
 日時・・・9月11日（木）⇒12日（金）12:30～
 理由・・・高山3RCクラブ合同ガバナー公式訪問例会
 場所・・・ひだホテルプラザ
 日時・・・9月18日（木）・9月25日（木）
 理由・・・規定休会

<幹事報告>

◎国際ロータリー第2630地区
 研修・学習委員会 委員長
 北川 由幸様より
 2025-26年度第一回クラブ研修リーダーセミナー開催のお知らせ
 日時・・・2025年9月21日
 場所・・・「ホテルグランヴェール 岐山」 岐阜市柳瀬
 通6-14 Tel 058-263-7111
 研修内容・・・日本型ロータリークラブのあり方を考える
 登録料・・・お一人様¥8,000（9月22日までに振込）
 申込締切・・・8月29日（金）



◎国際ロータリー第2630地区 職業奉仕委員長
 菅内 章夫様より
 職業奉仕委員会ラーニングセミナー開催のお知らせ
 日時・・・2025年10月5日（日）点鐘

高山中央RC・・・日時・・・9月1日（月）⇒8月30日（土）
 理由・・・創立35周年記念事業
 場所・・・大阪万博
 日時・・・9月11日（木）⇒12日（金）
 12:30～
 理由・・・高山3RCクラブ合同ガバナー公式訪問例会
 場所・・・ひだホテルプラザ
 日時・・・9月15日（木）
 理由・・・法定休日

<受贈誌>

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
 ハイライトよねやま vol.305
- ・高山RCより 7月度会報
- ・高山中央RCより 7月度会報

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
23名	-	23名	39名	62.16%

例会報告

<本日のプログラム>

ガバナー補佐訪問

第2630地区 濃飛グループガバナー補佐

岩本 正樹 様



みなさんこんにちは、濃飛グループガバナー補佐の岩本です。今日は今年度第2回目のクラブ訪問にお邪魔させて頂きました。今日の例会プログラムでありますクラブアッセンブリーに合わせて訪問させて頂きました。後ほどクラブアッセンブリーをお聞きして、所感ではございませんが感想を述べさせて頂きたいと思っております。今日は折角皆様方の前に立たせて頂きましたので私の感じているロータリー感について少しお話をさせて頂きます。我々の先輩ロータリアン達が例会について「例会は人生の道場である」でありますとか、ロータリーについて「ロータリーは友情を育み、人を育てる」ですとか、「ロータリーは親睦、学び、成長、奉仕」でありますとか述べられております。そして日本のロータリアンは昔から職業奉仕という考え方を大切にしております。私は義理のいとこに誘われてロータリーに入会して21年目になりますが、入会した当時の私はまだ40代半ばでお金儲けが楽しくてしょうがなく、例会に出席する時間があったりなくて、入会してすぐに「こりゃ、大変な奴に入ってしまったな」とすぐに後悔をしたことを覚えております。それでも何とか例会には出席しておりますと、クラブの先輩たちが何とか私をロータリーに定着させようとの手この手で努力してくださるわけでありまして。幸い私はゴルフが大好きでありましたので、昼はゴルフと一緒に楽しんで、夜はゴルフの反省会と称して酒を酌み交わし、そうこうしているうちに少しずつですが信頼関係と言いますか、絆が深まっていきました。考えてみますにロータリークラブの会員は原則皆さん会社の社長さんばかりでありますので、普段でありましたら到底お目にかかれない様な大社長さんもみえる訳であります。そんな社長さんたちは当然人の性格を見抜く観察眼も鋭く持っていますので、こんな私の性格をすぐに理解してロータリークラブに馴染むように上手に導いてくれました。私もそのうち色々な先輩たちと普通に話が出来ようになり、先輩方の考え方に触れていくうちに、尊敬出来る部分は自分なりに取入れながらロータリークラブへの理解も深まっていき、まだまだではございますが人間的にも少しつつ成長出来ているのかなと感じている所でございます。そして気が付いた時にはクラブのど真ん中で様々な活動をしている自分がおりました。今ではロータリーに導いて頂いた事、先輩たちに出会えた事を本当に良かったなと感謝している今日この頃でございます。まさに「ロータリーは友情を育み、人を育てる」「ロータリーは親睦、学び、成長、奉仕」その通りだと思います。会員維持増強は新会員を誘い入れる事は勿論重要でございますが、折角入ってくれた会員を守り育てていく事に常に心くばりをして頂ければ退会者の少ない、会員相互の信頼関係の篤いより良いクラブになっていくと思っておりますので会員維持の方にもどうかご尽力をお願いいただければと思います。そしてもう一つ、ロータリーには「職業奉仕」という考え方がございます。私は測量設計コンサルタントを生業にしておりますので公共事業を通じて社会のインフラ整備に日々貢献させて頂いておりますが、中でも豪雨災害であります

すとか、震災でありますとか、災害時には緊急初動対応を我々の業界は求められますので、その様な緊急対応の業務をこなしている時などは特に、うちの会社も少しは世の中の為に役に立っているな、「職業奉仕」実践しているなど実感できる時でございます。この様に「職業奉仕」を実践しているなど感じながら自分の職業に取り組んでいる時、この何とも言えない達成感と言いますか、日本のロータリアンの美德と言いますか、会社の経営者にとって「職業奉仕」というワードは本当にしっくりくる企業理念でもあると思うのですが、そう思うのは私だけでしょうか。ロータリーに入会してこの様な理念に出会い、しっかり向き合い理解を深めて自分の職業に生かしていく事が出来ればロータリークラブに入会した意義もあるのではないかと思います。今日は私の体験や職業を踏まえて「会員維持」と「職業奉仕」を絡めまして、私のロータリーに対する思いをお話させて頂きました。

<クラブアッセンブリー>

クラブ運営管理部門長

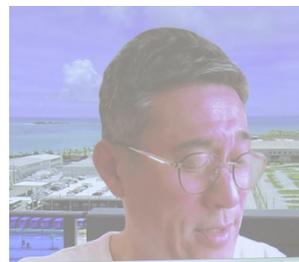
田中 晶洋



今年度の基本方針としまして、例会を含めクラブとしての活動が楽しく活気あるものになるよう、各委員会とのコミュニケーションを密にし委員会同士の情報共有、事業協力を援助していきますというふうにあげました。先日、会報雑誌広報委員長の堀さん、ニコニコ委員長の内田さん、親睦活動委員長の大屋さん、出席プログラム委員長の水梨さんと会長・幹事で意見交換会を開催いたしました。非常に活発な意見が交わされまして、各委員会でそれぞれ個々に独立した委員会で動くというよりも、委員会同士が相互に援助し合って、盛り上げていこうということで意見を交換いたしました。今年度はそんな感じで私も部門長として各委員長をサポートしながら、円滑に委員会が動いていくように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

会員増強部門長

長瀬 達三



本年度、会員増強部門長を務めさせて頂きたく長瀬です。会員増強部門は、会員増強委員会、職業分類・選考委員会、ロータリー情報委員会という3つの委員会で構成されており、各委員会には素晴らしい委員長さんがいらっしゃるため、実のところ私は部門長として具体的に何をすればよいものか、悩んでおります。しかしながら、基本方針にも記載しました通り、闇雲な会員の増加は好ましいと思いません。このエリアにおける、その職業の第一人者といえるような方なのかどうか、ロータリアンとして相応しいか、我がクラブの仲間として相応しいか。これらの点を各委員の皆さんと熟考したうえで、1名でも純増するために1年間活動して参りたいと思っております。

例会報告

奉仕プロジェクト部門長 垣内 秀文

奉仕プロジェクト部門は6つの委員会を総括していく部門であります、青少年奉仕委員会では上期早々に7/6に出前講座を国府小でおこないました、また例年通り3月には義務教育課程九カ年表彰を行う予定です、国際奉仕委員会におきましては60周年式典にご招待しています、台北東海RC御一行様と国際親善・友好を深めてまいります、職業奉仕は担当例会として職場訪問を計画しております、あと社会奉仕、R財団、米山奨学それぞれの委員会でも担当例会で奉仕の心を更に深めていきたいと考えております。

また我がクラブは現在60周年の段取り等で中々心と時間に余裕が無く、開催できていませんが、各奉仕委員会との意見交換会を開催し、各奉仕活動について委員会が計画した活動を実践できるよう、また目的が達成できるようサポートし、地域に根差した奉仕活動を行っていきます。今年度は3月財団地区補助金事業【子ども応援プロジェクト】を計画しており、実行委員会及び各奉仕委員会と連携協力しながら、成功に導いていきます。



地区補助金事業実委員長

門前会長の肝いりの事業であります、こども夢応援プロジェクト/「今を大切に生きていく」「こどもの夢を応援すること/闘病や死別を経験された方々から学ぶこと」を通じて、いまを大切に生きていく社会づくりにむけた3/21~24の4日間のイベントを企画しています。昨年11月頃から計画内容を練り始め、今年の正月明け、申請書をメールで送信し、一ヶ月なんの返信のないまま2月中旬になり、門前会長と心配をしていたら地区からは正箇所の指摘を受け訂正し、それから6月期の終わりにやっとヤキモキしていましたがOK承認がおりました、もう活動計画書の校正に財団事業はスケジュールされておりましたので、超早とちりの大失態を招かず先ずは内心「ホッ」としています。最近になって申請内容等を読み返していますが、何分作成したのが半年以上前なので、自分が作成したのに、意味不明な部分もあるところですが、奉仕部門委員長を中心に実行委員会を立ち上げ、必ずや地域の皆様に喜んでいただける事業としていきます、指名された方におかれましては「待っていました、ハイ喜んで」とお引き受けよろしくお願ひ申し上げます。

内容

【初日(土)「ミチシル絵」(似顔絵コーナー)】子どもたちの将来の夢、自分の姿を想像して「絆画家」大村順さんに目標・夢を叶えた姿を絵にする「ミチシル(道知る)絵」を描いて頂き、目標に力強く進んで頂きたいと思ひます。

【2日目(日):トークショー】大村順さん、がんサークルOwls代表の三井祐子さん、千光寺 大下大園さんをお招きし、「心の世界」をテーマにしたトークショーを開催します。

【3.4日目(月)(火):個展】大垣共立銀行さま1Fフロアにて「きずな絵」と闘病中の方が綺麗にメイクを施し笑顔で撮影された「ラベンダーリング」を展示し、一般の方にも告知し元気な姿を御観覧頂きます。

・きずな絵の個展(18枚~20枚)

S. A A 副委員長 堺 和信

(今回、下屋さんは国民スポーツ大会東海ブロック予選参加のため欠席です。副委員長の堺さんにお願ひしました。)



親しくも品格のある創立60周年を迎える当クラブの例会運営を司る「守衛官」という立場で、例会を見守りながらスムーズな運営を行います。会員それぞれのロータリアンとしての振る舞いのできる例会創りのため、委員一同会長幹事と並んで使命感を持って職責を果たしていきます。今年度は、これまで実践してよかったことを継承しています。年度はじめのシャンパンで乾杯をしました。今回から、奇数月2回目の例会では「シャッフル DAY」と 終わりの点鐘後近くの方と握手をして解散していただく「握手 DAY」を開催します。ぜひ記念式典や台北東海歓迎会の際にも行いたい。また、音楽についてはこれまであるものをいろいろ工夫して流しています。点鐘までの流れを改善します。「4つのテスト」は、会長の音頭からの唱和に戻します。感想やご意見をお寄せください。当番は、早めに(11:30頃)出席し、マイク調整・鐘の置・ソングの歌詞の掲揚・ソング・BGM(選定)の操作など、まだまだ不慣れですが良い食事・良い卓話・良い雰囲気作りのため「縁の下の支え」に徹しますのでよろしくお願ひいたします。

委員は、伊藤さん、堺さん、榎坂さん、長瀬さんよろしくお願ひいたします。

60周年実行委員長 堺 和信

残り1ヶ月半となりましたが、10月5日に創立60周年記念式典及び祝賀会を高山グリーンホテルさんで開催させていただきます。来賓及び友好クラブの台北東海ロータリークラブの方々と約40名をお招きし、会員及び奥様方を含め総勢約100名の出席を予定しています。当日は、全員のご協力をよろしくお願ひいたします。記念事業としましては、長く戦乱が続いたアフガニスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い医療活動をしていた中村哲さんが、アフガニスタンに必要なのは「1000の診療所より1本の用水路」と語り、約65万人以上の命を救った医師でありながら、白衣を脱ぎ、自ら重機に乗って用水路の建設に取り組みされた35年の生きざまをドキュメンタリー映画にした「荒野に希望の灯をともし」を、11月2日に高山文化会館小ホールで2回上映します。また、10月5日の記念式典のあとに、この映画の監督であり自ら20年以上にわたり1,000時間以上撮影された谷津賢二さんに、この映画の撮影の経緯や背景をお話していただきたいと思ひます。

例会報告

第 2630 地区 濃飛グループガバナー補佐 岩本 正樹 様より

只今のクラブアッセンブリーをお聞きして所感ではありませんが、私なりに感じた事を話させていただきます。西クラブさんにおかれましては今年度も様々な奉仕活動を精力的に計画されていることが良く分かりました。

先ずロータリー財団地区補助金を利用した「こども応援プロジェクト」を4日間にわたり開催されるとのことで、その中の大村順さんによる「道知る」という似顔絵コーナーや、60周年記念事業の目玉としての中村哲さんの映画の上映など、私も大変興味が湧きましたので、是非拝見してみたいと思いました。それとアッセンブリーの中で「四つのテスト」についてお話が出ましたので付け加えさせていただきますが、「四つのテスト」を唱和する時は必ず「言行はこれに照らしてから」を最初にどなたかが発生してから四項目を唱和して頂くのがルールとお聞きしたことがございますので、この点は参考にして頂ければと思います。あと、長瀬会員増強委員長が言っておられました、入会した後の会員維持が非常に大事だと私も思いますので、その辺はベテランの会員さん方には特に注力頂ければと思います。以上、私の感じた事を述べさせていただきます。

<ニコニコボックス>

●門前 庄次郎さん・杉山 和宏さん

本日はガバナー補佐訪問例会です。アシスタントガバナー岩本 正樹様のご来訪を心より歓迎いたします。各部門長さん・S. A. A・60周年事業・地区補助金事業の各委員長さんのクラブアッセンブリーとなります。よろしく願いいたします。

●濃飛グループガバナー補佐 岩本 正樹様

本日は本年度2回目のクラブ訪問にお邪魔させていただきました。よろしく願い申し上げます。

●塚本 直人さん

暑い日が続きます。長男が昨年までお世話になった県岐阜商が甲子園で健闘しました。応援に力が入りました。惜しかったです。出張の為 本日は早退します。

●田中 晶洋さん

今週月曜日の昼間、朝顔の水やりの最中に顔面を足長蜂に刺されました。幸いにも会社の看護師が注射器で毒を吸い出して手当をしてくれたおかげで、ほとんどはれることもなく済みました。何事も素早い処置が大切だと知らされました。昔、ロッキード事件で「蜂の一刺し」という流行語がありましたが、皆様も「蜂」には御注意ください。

●岡田 賛三さん・田近 猛さん・内田 幸洋さん 米澤 久二さん・田中 武さん・堺 和信さん 鴻野 幸泰さん・垣内 秀文さん・田邊 淳さん 榎坂 純一さん・大屋 尚史さん・熊谷 高志さん 周 光大さん

国際ロータリー第 2630 地区
濃飛グループガバナー補佐 岩本様のご来訪を歓迎いたします。御指導よろしく願いいたします。

県岐阜商 よく頑張りました！！

